

令和6年4月29日

参加申込者 各位

青森県ソフトテニス連盟  
理事長 新保俊彦  
(公印省略)

### 令和6年度1級審判員検定会【東日本】青森県選抜試験の開催について

この度は、標記検定会参加希望者申込みをとりまとめたところ、30名を超える申し込みをいただき厚くお礼申し上げます。

4月7日の県連総会では、1級審判員は2級審判員を指導すべき資格であること、将来の青森県を担う中核となる人材を受験させ資格取得させたいこと、高齢の者には後進に受験資格を譲ること等申しあげ理解を求めたところですが、その場で辞退者はなく、その後1名の辞退者があっただけでした。

一方、参加希望者の資格内容を見ますと、申し込み時点で審判資格がない者や有効期限を把握していない者等、そもそも受験資格が疑わしい者が相当数見られました。よって、受験申込希望者には、今一度自らの資格番号や有効期限を確認したうえで、再度申込み手続きを行って頂きたいと思います。受験できる青森県の人数は、15人程度と想定されるため、下記により選抜試験において対象者を絞り込むこととしました。参加希望書提出者には、お手数をおかけしますが、東日本地区の各都道県代表が参加する検定会に青森県を代表して参加するにふさわしい実技と知識を有する者を選抜するという趣旨ですのでご理解くださるようお願いいたします。

### 記

1. 期 日：令和6年9月8日（日）8時30分テニスコート受付開始
2. 会 場：＜実技検定＞新青森県総合運動公園サブコート（4面） 9時～  
＜筆記試験＞青森県総合社会教育センター第2多目的室 13時～
3. 内 容
  - (1) 実技（正審と副審を両方行う）例えば、選手・応援者（保護者）顧問などへの対応や、競技規則17条に関連する事柄について等、現場で起きる突発的な事案への対応等
  - (2) 筆記試験（ハンドブックの内容に加え、ハンドブック以外の部分で県連盟が選手育成普及に使用している基本的な考え方、日本スポーツ協会の選手育成強化の基本的な考え方等指導者や審判員が必要と思われる知識を幅広く出題する。）
4. 申し込み
  - (1) 別紙「申込書」に必要事項を記入し個人ごとに提出ください。審判番号・審判資格有効期限が空欄のもの、虚偽の記載をしたものについては、受験を認めません。
  - (2) 申込期限 令和6年6月30日（日）
  - (3) 申込先 青森県ソフトテニス連盟 理事長：新保 俊彦  
E-mail：t-shimpo@beige.plala.or.jp
5. 所持品：ソフトテニスハンドブック・公認審判員ワッペン・筆記用具・ラケット・

## ソフトテニスのできる服装、雨具

6. 実施責任者：片岡 勝（日本ソフトテニス連盟 審判部審判委員）
7. 選抜試験試験管：実施責任者が参加者数等を考慮し、別途選任する。
8. 注意事項：次に示す条件を満たせない場合は検定会の参加を辞退していただきます。
  - (1) 上記選抜試験を受験しない者。
  - (2) 実技・筆記の一方しか受験しない者。
  - (3) ソフトテニスハンドブックで十分に理解していない者。
  - (4) 実技・筆記試験ともに合格点に達しない者。
9. 選抜試験結果による東日本検定会受験資格取得者
  - (1) 県連HPを通じて発表いたします。
  - (2) 受験記録は、次年度以降の検定会参加希望者優先順位決定に活用します。
10. その他
  - (1) 実技試験は、雨天でも実施します。雨具等審判ができる服装を準備ください。
  - (2) 昼食は、各自準備ください。
  - (3) 参加料は、徴収いたしません。
  - (4) 変更事項・詳細情報などもHPを通してお知らせいたします。

以 上